

クラスター	病理・病態系クラスター			
授業科目名	周産期の病理学・実習			
担当者名	責任者	寺田 幸弘	分担者	三浦 広志
単位数	1単位(選択)		配当年次	1年次
授業形態	講義		実施場所	授業計画の[実施場所]を参照
開講期間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します			
開講曜日・時間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します			

授業の概要・到達目標

授業の目的:周産期医学は「母児医学」であり、従来の「産科学」に「胎児医学」が加わった広大な医学である。とくに胎児に関しては、未知の領域が多く、まさに発展途上の医学とも言える。授業では、胎児の発育や発達に始まり胎児疾患については、その病態、診断、そして最先端の胎児治療に至るまでを学ぶことを目的とする。

授業の到達目標:実習では、おもに超音波断層法(血液ドップラー, 3D/4Dも含む)を用いて、胎児の観察および評価を実際に行う。

授業の概要:

- 1.2. 生殖とは～なくなる命の流れ～
- 3.4. 胎児発育モニタリングの実際
- 5.6. 周産期合併症
- 7.8. 周産期医療の未来

授業計画

	講義題目 (講義内容)	担当教員	講座名 〔実施場所〕
1	生殖とは ～なくなる命の流れ～	寺田 幸弘	産婦人科学 〔講座医局〕
2			
3	胎児発育モニタリングの実際	三浦 広志	
4			
5	周産期合併症	三浦 広志	
6			
7	周産期医療の未来	三浦 広志	
8			

授業形態および成績の評価方法・基準

講義室(研究室)での講義30時間+自学自習15時間, 計45時間で1単位とし, 評価は出席状況と提出したレポートの内容を考慮して行う。

問い合わせ先(氏名, メールアドレス等)

寺田 幸弘, teraday@doc.med.akita-u.ac.jp

その他特記事項

履修に関する情報:社会人大学院生など, 勤務等で実習に出席できない場合には日程の調整に応じます。

教科書・参考文献:必要に応じて資料を配付する。または, 文献を指定する。

自学自習時間における学習内容:到達目標や授業内容に応じた準備学習を行うことが望ましい。